

海図の見方

その2



船が港に入るときは、より詳しい情報が書かれた大きな海図を使います。これは、鹿児島港付近の海図です。

コンパス(方位)

北を0度として右回りに360度まで目盛りがあります。

内側の目盛りは西側に6度傾いています。これは磁針方位といえます。

コンパスは、船の向かう方向を決める時などに使います。

CS Sh

底質

海底に積った物を示します。CSは粗い砂、Shは貝殻です。

潮流(ノット)

上げ潮(上側)と下げ潮(下側)の流れを示します。

海での速さはノット(kn)を使います。1knは時速約1.85km

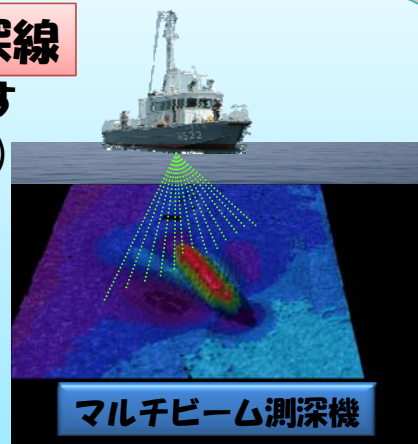
水深と等深線

7.4

海の深さを示す数字(7.4は7.4m)です。

左側の線は、5mの等深線を示しています。右側の線は、10mの等深線です。

水深は音波で測ります。



マルチビーム測深機